

国管理空港の取組について

本資料中に掲載しております「2025年の鳥衝突件数」は、鳥衝突情報共有サイトの統計データから抽出した数値となっておりますが、確定前段階の数値を採用しているため今後航空局のデータ精査により変更となる可能性があります。

また、「離着陸 1 万回当たりの鳥衝突率」は、確定前段階の数値を用いて算出しているため、今後航空局のデータ精査により変更となる可能性があります。

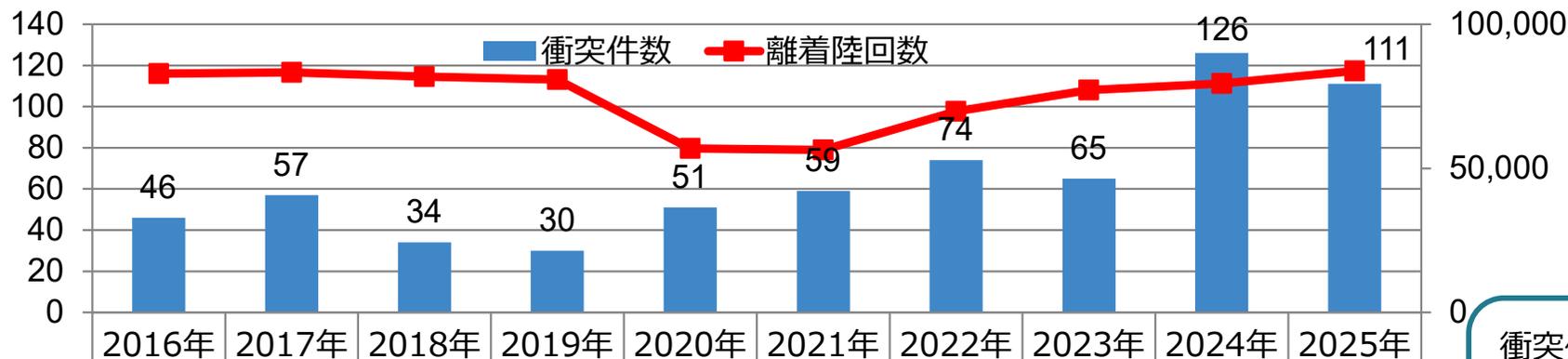
以上について、予めご承知おき願います。

那覇空港における鳥衝突対策の取組について

衝突件数の推移（2016年 - 2025年）

衝突件数

回（離着陸回数）



| | | | | | | | | | | |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 衝突件数 | 46 | 57 | 34 | 30 | 51 | 59 | 74 | 65 | 126 | 111 |
| 離着陸回数 | 82,890 | 83,249 | 81,803 | 80,806 | 56,861 | 56,385 | 69,807 | 77,121 | 79,411 | 83,788 |

衝突件数の多くはツバメ
2024年：約45%、
2025年：約26%

離着陸1万回あたりの鳥衝突率の推移（2016年 - 2025年）

※離着陸1万回あたりの鳥衝突率 = 鳥衝突件数 × 10,000 ÷ 離着陸回数

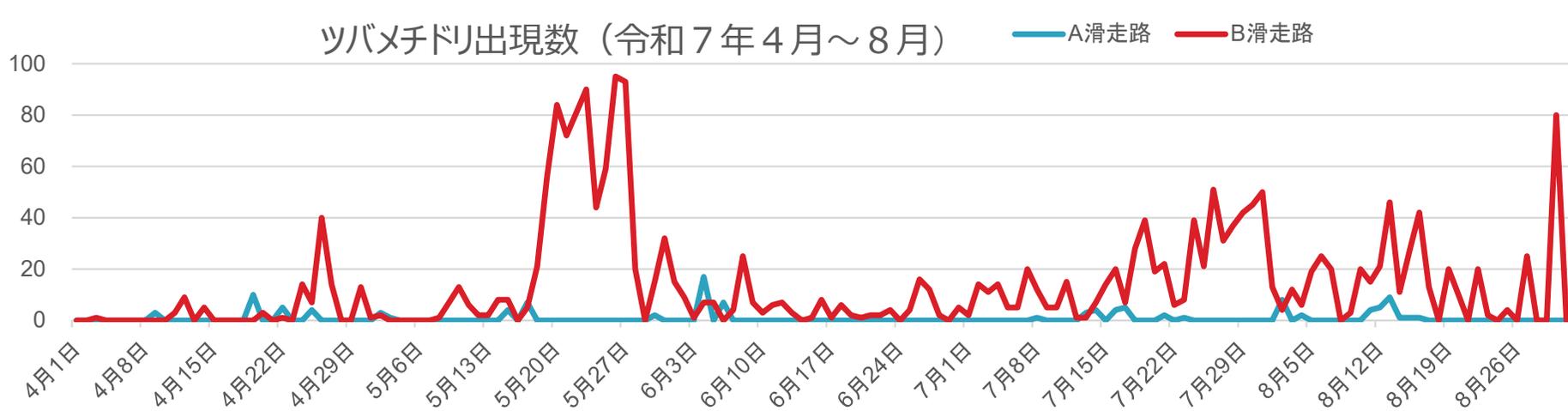
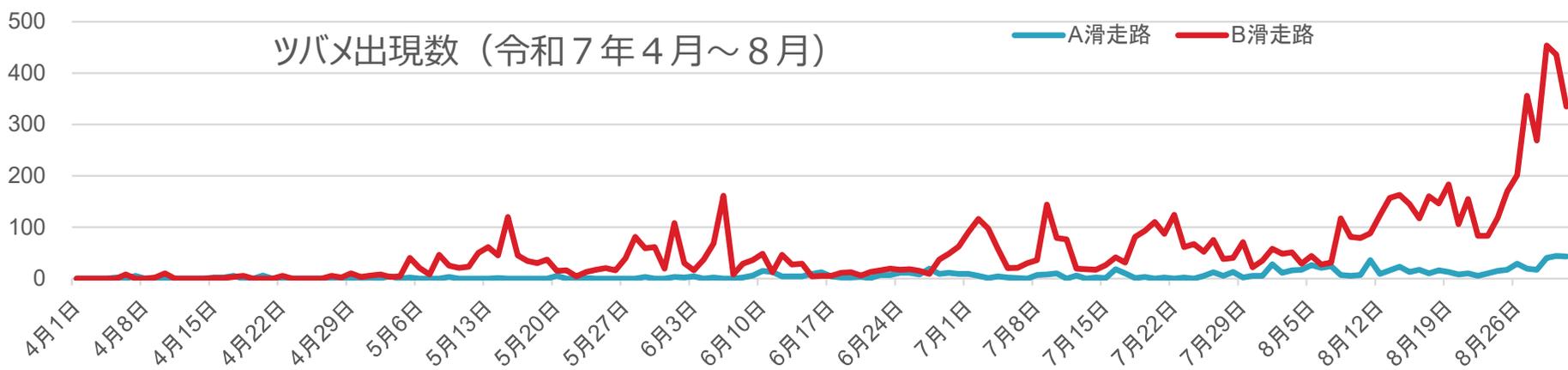
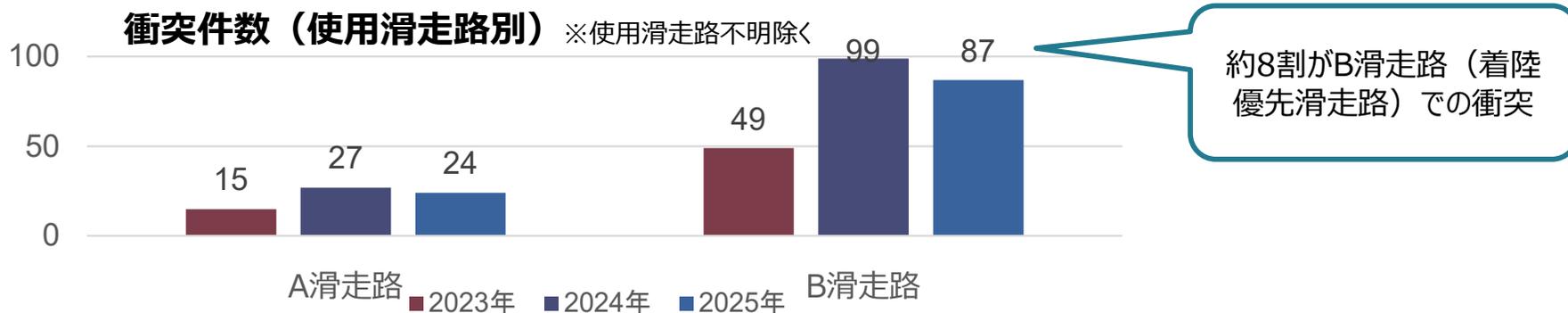
件／離着陸1万回あたり

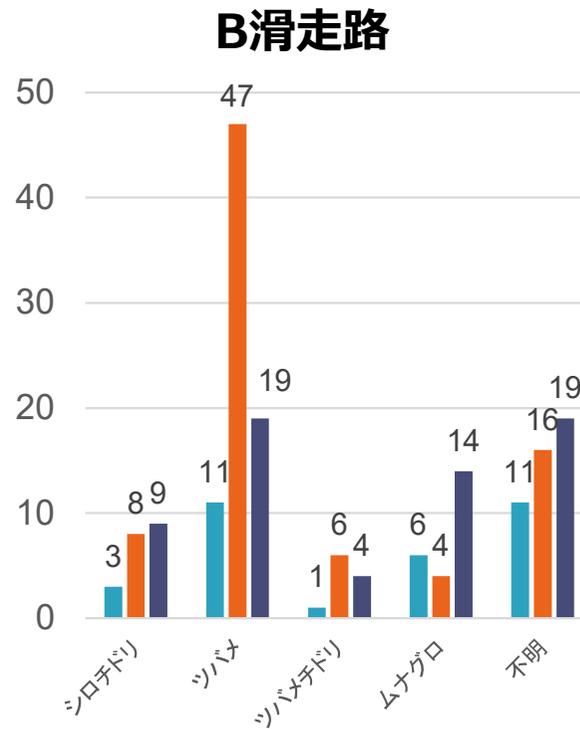
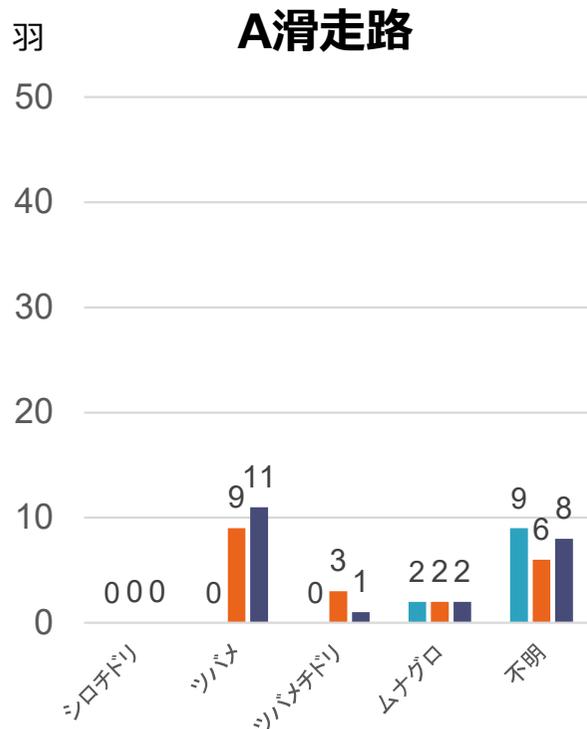
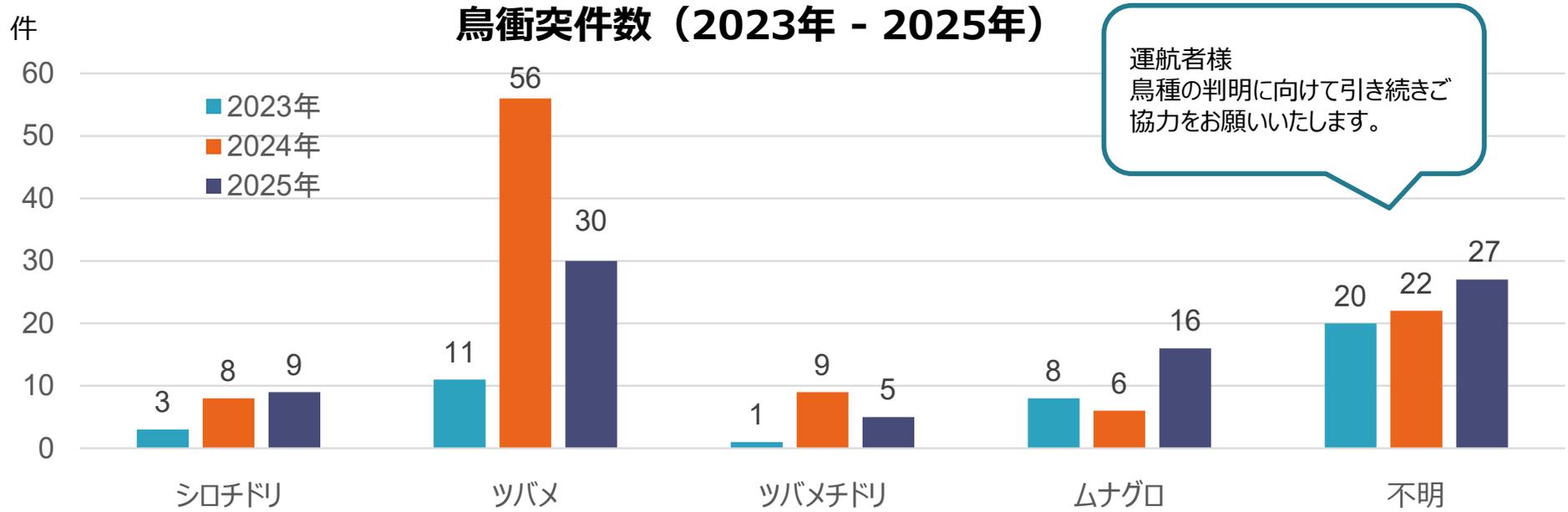
回（離着陸回数）



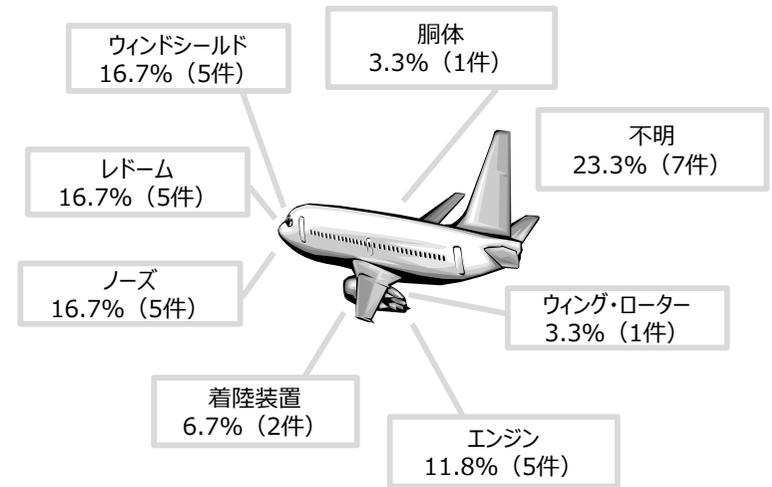
| | | | | | | | | | | |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 鳥衝突率 | 2.77 | 3.42 | 2.08 | 1.86 | 4.48 | 5.23 | 5.30 | 4.21 | 7.93 | 6.62 |
| 離着陸回数 | 82,890 | 83,249 | 81,803 | 80,806 | 56,861 | 56,385 | 69,807 | 77,121 | 79,411 | 83,788 |

鳥衝突率は7.93→6.62へ減少





ツバメ衝突部位件数 (2025年)



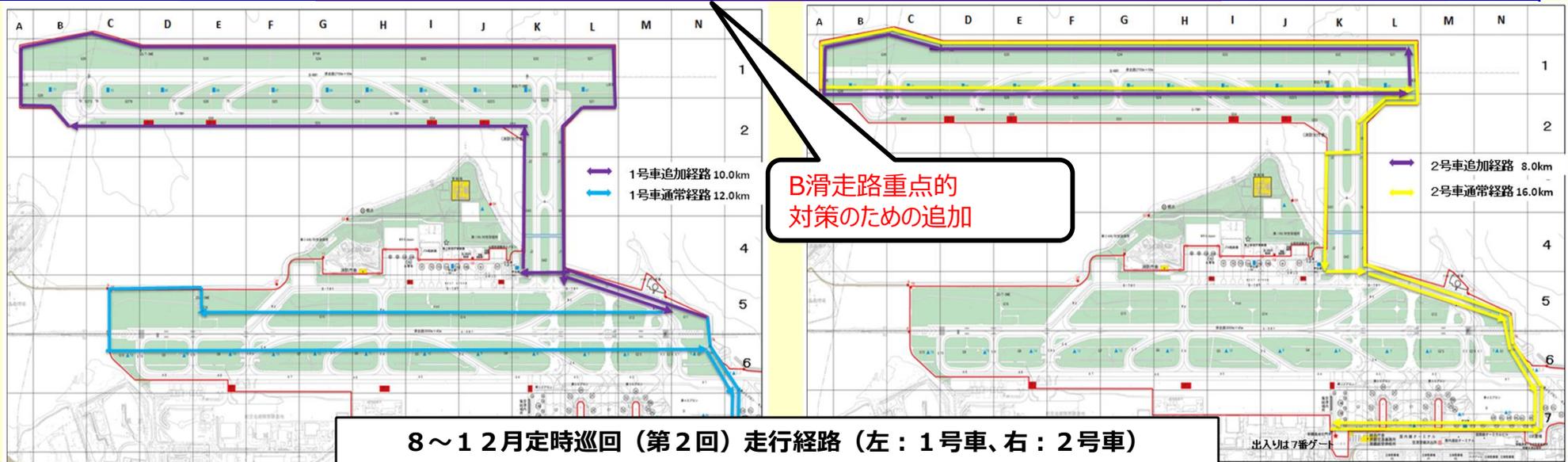
2025年は衝突箇所には偏りはない。
航空機の損傷は0件。

B滑走路のバードパトロールの強化

(対策の概要と効果)

令和3年度に実施した生態調査において「特に9～12時台、18時台には常にスイープ（追い払い）体制の車両が重点エリアで稼働していることが望ましい」、「衝突の大半はB滑走路で発生しており、今後は2班体制の中でB滑走路に重点を置いた対応が求められる」と提案があったことから、令和4年度より一部の定時巡回について、巡回時間を延長し、B滑走路を2台体制で巡回することにした。B滑走路の両サイドから2台同時に巡回することで効果的な追い払いが実施できており、今後もB滑走路に重点を置いた対策として継続予定。

| 時間 | 6分 | 7分 | 8分 | 9分 | 10分 | 11分 | 12分 | 13分 | 14分 | 15分 | 16分 | 17分 | 18分 | 19分 | 20分 |
|---------------|-----|----|----|------|-----|------|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|--------|
| 1月～4月 (通常期) | 1号車 | | | A滑走路 | | A滑走路 | | | A滑走路 | | | A滑走路 | | | 1台2名乗車 |
| | 2号車 | | | B滑走路 | | B滑走路 | | | B滑走路 | | | B滑走路 | | | 1台1名乗車 |
| 5月～7月 (多発期Ⅰ) | 1号車 | | | A滑走路 | | A滑走路 | | | A滑走路 | | | A滑走路 | | | |
| | 2号車 | | | B滑走路 | | B滑走路 | | | B滑走路 | | | B滑走路 | | | |
| 8月～12月 (多発期Ⅱ) | 1号車 | | | A滑走路 | | A滑走路 | B滑走路 | | A滑走路 | | | A滑走路 | | | |
| | 2号車 | | | B滑走路 | | B滑走路 | B滑走路 | | B滑走路 | | | B滑走路 | | | |



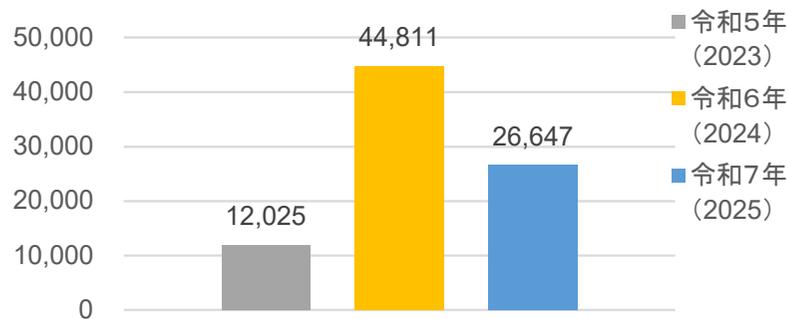
ツバメ対策

(防除対策)

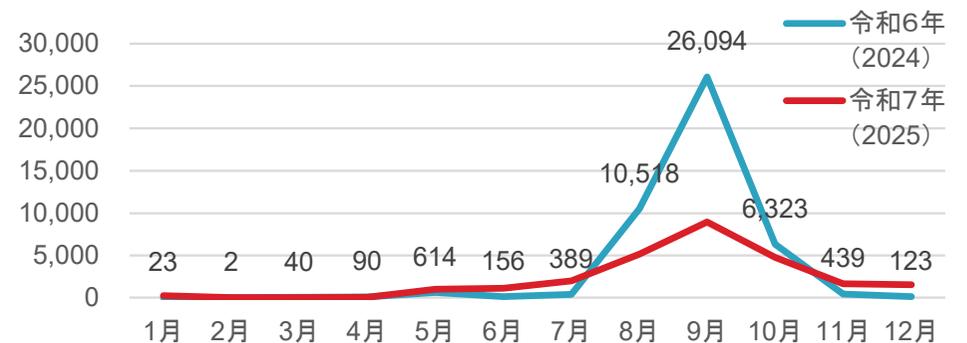
令和6年8月以降、7時台にツバメの出現が多く、航空会社からも頻繁にバードスイープの要請があったため、これまでは8月～12月のバードパトロール業務開始時間を8時としていたが、より効果的な防除が実施できるよう令和7年度は7時30分から開始する体制へと変更した。令和7年度はツバメの出現数が減少したものの、引き続きツバメの動向に注視する。

| 期間（月） | 業務時間及び業務体制 | 巡回数 |
|----------------------|---|-----|
| （通常期間） 4月、1～3月 | 8時30分～16時30分 2班2名体制 16時30分～18時00分 2班1名体制 | 4回 |
| （鳥衝突多発期間Ⅰ） 5～7月 | 8時00分～17時30分 2班2名体制 17時30分～20時00分 2班1名体制 | 5回 |
| （鳥衝突多発期間Ⅱ） 8月～12月 | 7時30分～17時30分 2班2名体制 17時30分～20時00分 2班1名体制 | 5回 |

ツバメ出現数（過去3年）



ツバメ出現数（月別）



(環境対策)

令和6年8月以降に急増したツバメの対策として、令和7年度にツバメの生息状況、環境等に関する基礎調査を実施しているところ、令和8年度以降においては、調査結果を踏まえ、必要な対策を講じる予定。